

協同乳業の旬な情報をお届け！

MEITO ONLINE TIMES!

~VOL.1~

2023.6

ビフィズス菌
LKM512の生みの親！
松本光晴博士に
聞いてみた(前編)

ビフィズス菌LKM512(以下LKM512)の研究ってどんな所で行われているの？



▲多摩にある協同乳業(株)東京工場



▲同じ敷地内に研究所があります。

東 京・西多摩の日の出インターを出てすぐのところに協同乳業の東京工場があります。ここには協同乳業の物流センターと、牛乳・プリンなどを作る専用工場が併設されており、その並びに研究所があります。2階建ての研究所にはたくさんの機械や道具があり、日々様々な研究が行われています。



▲研究所内には多くの実験室があり、中にはウン千万円もする機械なども多数！

LKM博士松本光晴さんに伺ってきました！

2 023年5月初旬、松本博士にお時間をいただき、約3時間インタビューさせていただきました。

松本博士はビフィズス菌LKM512の生みの親であり、現在腸内環境に関しての多数の研究・論文発表を行い、その共同研究や講演で全国を飛び回っています。

【質問①】LKM512の研究を始めたきっかけは何ですか？

松本博士(以下松)：会社から特保(特定保健用食品)のヨーグルトを開発する命令を受け、和光市にある理化学研究所で研究を始めたのがきっかけです。最初は整腸作用を確認するだけのつもりが、このビフィズス菌がおなかの中で増えること、そして便が黄色く、やわらかくなり、臭いもなくなることが分かり、何が起きているのかを調べ始めました。



▲LKM博士 松本 光晴さん

協同乳業株式会社研究所 技術開発室 主幹研究員

1997年協同乳業入社。2002年博士号取得、

岐阜大学大学院連合農学研究科、博士(農学)。

ビフィズス菌LKM512の研究と、アルギニンを

共に摂取することでポリアミンがほぼすべての

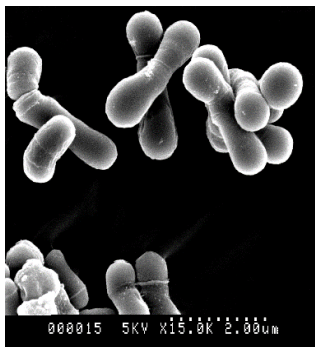
日本人の腸内で作り出される技術を創出

(特許第5881801号)。

座右の銘は「情けは人のためならず」

裏面に続く👉 松本博士に聞くLKM512の「ここがスゴイと思う点」とは？

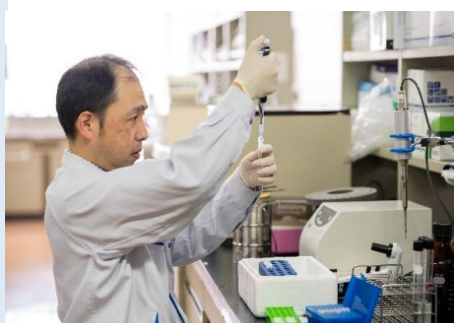
松本博士に聞くLKM512の「ここがスゴイと思う点」とは？



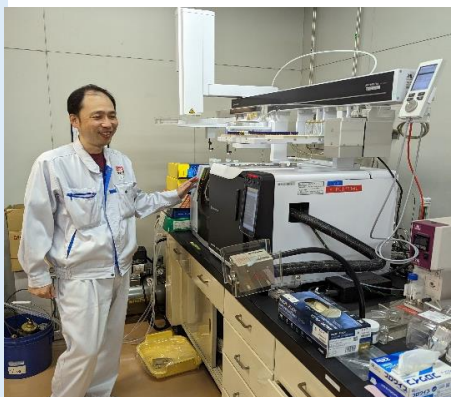
▲LKM512の電子顕微鏡写真



▲LKM512が生きて腸に届く生存率



▲実はLKMはLaboratory of Kyodo Milkの頭文字！



▲高性能の最新機器も研究で使用中

【質問②】LKM512のここがスゴイと思う点は何ですか？

松：胃酸でほぼ死なないんです。また腸管粘膜への粘着力が非常に強いのです。そのため腸内で増え、多くの方に整腸効果が期待できます。それに加え、アミノ酸の一種であるアルギニンと一緒に摂ることで**善玉物質であるポリアミン**を作ることがスゴイと思う点です。

なぜならこのポリアミンは年齢と共に減少すること、また長生きしている人には多いことが研究で分かってきており、実際にマウスの実験ではポリアミンが多い餌を食べさせると生存率が高くなっています。LKM512がスゴイというよりも、LKM512を食べることで作られるポリアミンが様々な体にいい機能をもっているのです、その効果を日々研究しています。

LKM512研究の最前線について

お 客様のアンケートで多いのはLKM512研究の最新情報を聞きたいというお声。そこで現在伺える範囲での最前線をお聞きしてみました。

【質問③】LKM512の最新の研究状況を教えてください。

松：今、採択された科学研究費助成事業の研究費※なども利用して、主に**血管内皮機能や認知機能への影響**を中心に研究しています。LKM512の他にも便の中の成分を調べる技術の高精度化を目指し、島津製作所との共同研究も進めています。

※科学研究費補助金による助成を受けた研究課題：20H00575/食品による認知症予防戦略、その他6件（22K15116、22K14987、21K09851、20K19738、19K20173、19K18981）

今 後さらなる解明により、人々の健康寿命に影響を与えるであろう研究状況の数々にこれからも注目していきたいと思えます。 **次号へ続く！！**

Next Issue(2023.7)

ピフィズ菌LKM512の生みの親！松本博士に聞いてみた(後編)



お問い合わせ
合わせ

◆MEITO ONLINE TIMES！へのご意見・ご感想はこちら◆

メイトーオンラインショップメールアドレス

lkm512shop@meito.co.jp

どうぞお気軽にご連絡くださいませ。

